

地方独立行政法人福岡市立病院機構
令和7年度第2回理事会 議事録（要旨）

- 日 時：令和7年5月28日（水）15:50～17:25
- 場 所：こども病院 講堂
- 出席者：堀内理事長（議長）、楠原副理事長、瓜生理事、神坂理事、平田理事、
柳澤監事、近藤監事 [欠席：石橋理事]
- 議 事

【報告事項】

1 令和6年度決算について（速報値）

＜概要＞

令和6年度の決算速報値について、事務局より説明を行った。

＜主な意見等＞

特になし

2 令和6年度に係る業務実績報告書（案）について

＜概要＞

令和6年度に係る業務実績報告書（案）について、事務局より説明を行った。

前文、4月理事会からの変更点、自己評価2または4の箇所について説明

（内容）

（1）取組の総括と課題

令和6年度は、第4期中期計画期間の最終年度だったが、市立病院の役割を果たすため、引き続き新型コロナウイルス感染症の対応に取り組むとともに、患者サービスの向上、病院機能の強化、経営の効率化等に取り組んだ。

令和6年度の年度計画は、こども病院では、小児医療及び周産期医療の更なる充実に取り組み。市民病院では、コロナ等への対応を継続しながら、高度専門医療については安定的な提供に取り組むとともに、救急医療については「断らない救急」の徹底に取り組み、紹介患者及び救急患者の受入を強化した結果、医業収益は前年度を大きく上回った。

経営収支面では、収益確保として、効率的な病棟運用、増収につながる施設基準の取得及び維持管理、レセプト請求の精度向上などに取り組み、費用削減として、両病院の診療材料等の同種同効品の統一化や価格交渉の実施などに取り組んだほか、省エネルギー化を推進し光熱費の縮減に努めたが、こども病院においては、診療報酬の改定によるP I C U等の入院管理料の取り下げ等の厳しい状況により5億9千万円余の当期純損失が発生し、市民病院においても、医業収益は前年度を大きく上回ったものの、物価高騰の影響による経費の増などにより、4億5千万円余の当期純損失が生じた。

今後の課題として、両病院ともに、経営の効率化等に積極的に取り組み、ハラスメント防止などによる働きやすい職場環境に努めるとともに、こども病院においては、求められる高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療を提供する病院としての役割を果たしていくため、医療環境の変化を見据えながら、医療機能等について検討を進めていく必要がある。

市民病院においては、福岡県地域医療構想等で必要とされる、高度専門医療及び高度救急医療体制を提供するために必要な取組を継続するとともに、災害時や感染症等発生時などの緊急時には、福岡市等との連携の下、市立病院として求められる役割を果たす必要がある。さらに、将来的な福岡市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、経営の効率化に積極的に取り組む必要がある。

「1 医療サービス」「(1) 良質な医療の実践」の こども病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

1つ目の○の文言を修正。

「(1) 良質な医療の実践」の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

1つ目の○の文言を修正。また、①で※印の追記と数値を変更。

「(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進」のこども病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

「(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進」の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3です。

①の文言の修正と数値を変更。また、③の数値を変更。

さらに、●で福岡市歯科医師会との協働で入院患者の口腔アセスメントのラウンドを実施したことを追記
25 ページ、実績値の修正。

「(3) 災害・感染症等への適切な対応」のこども病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

3つ目の○の文言を修正。

「(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応」の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

1つ目の○と3つ目の○で文言を追記、修正。

「2 患者サービス」「(1) 患者サービスの向上」のこども病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

③の文言を修正。

「(1) 患者サービスの向上」の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

①と③と●の文言を修正。

「(2) 情報発信」のこども病院

自己評価は、ウエイト1、評価3

4つ目の○を、●から○に修正。

●は、年度計画には記載していない事業について表示している。

「(2) 情報発信」の市民病院

自己評価は、ウエイト1、評価3

1つ目の●で文言を追記。また、実績値を変更。

「3 医療の質の向上」「(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修」のこども病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

「(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修」の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

①の数値を変更。

「(2) 信頼される医療の実践」のこども病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

③に文言を追記。

「(2) 信頼される医療の実践」の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

自己評価は、ウエイト1、評価3

②の文言を修正。

2 事務部門の機能強化

自己評価は、ウエイト1、評価3

②の数値を変更。

3 働きがいのある職場環境づくり

自己評価は、ウエイト1、評価3

②等の文言を修正。

4 法令遵守と公平性・透明性の確保

自己評価は、ウエイト1、評価2

①と②で文言や数値の追記や修正。

自己評価の判断理由

コンプライアンスやハラスメント研修等を実施するとともに、個人情報の保護や情報公開に適切に対応したが、パワー・ハラスメントによる懲戒処分事案が2件発生し、市民の皆様の信頼を損なうこととなったため、自己評価は「2」とした。

第3 財務内容の改善に関する事項

1 持続可能な経営基盤の確立 (1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化のこども病院

自己評価は、ウエイト2、評価2

実績値を変更。

自己評価の判断理由

経常収支比率及び医業収支比率が目標値を下回っており、年度計画を十分に実施できていないと判断し、自己評価は「2」とした。

高額医療機器の更新、心臓血管外科医師数減の影響による手術件数の減、施設基準の要件変更による入院管理料取下げによる入院単価の減等や高額医薬品の使用増や有期職員の賞与支給額増による費用増等により収支が悪化している。

医師の確保の手立てを模索していく必要があると考えている。

(1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

文言や数値、実績値を変更。

(2) 投資財源の確保

自己評価は、ウエイト1、評価2

文言を修正。

自己評価の判断理由

高額医療機器の更新などは効果的に行ったが、収支改善に取り組んだものの、当期純損失となり新たな投資財源の確保ができなかったことから、自己評価は「2」とした。

2 収支改善 (1) 収益確保のこども病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

(1) 収益確保の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

②の文言の修正。95 ページの実績値の修正。

(2) 費用削減のこども病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

(2) 費用削減の市民病院

自己評価は、ウエイト2、評価3

①、②、●等の文言、実績値を追記、修正。

第4 その他の業務運営に関する重要事項 1 こども病院における医療機能の充実

自己評価は、ウエイト2、評価4

2つ目の○と6つ目の○の文言を修正。

自己評価の判断理由

臨床研究や治験業務に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献するとともに、成人を含むDPC病院の中で、川崎病の症例数9年連続全国1位や複雑な先天性心疾患に係る難易度の高い手術症例数が全国2位となるなど、年度計画を上回って実施していると判断し、自己評価は「4」とした。

2 市民病院における経営改善の推進

自己評価は、ウエイト2、評価3

①の文言及び数値を修正、追記。

第5「予算、収支計画及び資金計画」については、6月の理事会において、別途、お諮りする。

第6「短期借入金の限度額」、第7「重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画」については、該当なし。

第8「剰余金の使途」については、令和6年度は剰余金が生じていない。

第9「福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項」

1 施設及び設備に関する計画

病院施設、医療機器等整備として、9億1,600万円を執行しており、財源は前中期目標期間繰越積立金等。

2 人事に関する計画

医師及び管理職を対象とした人事評価制度の業績手当への反映、管理監督者を対象とした外部講師による研修及びそれ以外の職員を対象としたWeb動画を活用したハラスメント研修、全職員を対象とした情報セキュリティ研修の実施、外部研修への派遣、Web等を活用した院内研修の実施、さらに適材適所の人事配置や有期職員の配置による効果的・効率的な組織運営を推進している。

<主な意見等>

- こども病院の医師を確保していくことは、すごく重要であるが、施設基準の変更により、基準を満たす医師の確保が困難であることによるPICU及びMFICUの入院管理料の取り下げに伴う収益の減について、とても大変であると聞いたが、見通しとして医師の確保はどのようになりそうか。
- 医師の確保については、色々と手を尽くしており、内部でも勤務体系の変更等も検討しているが、厳しい状況である。
- PICU及びMFICUの入院管理料が取れるような医師が確保できている病院は、全国

でも少ないのか。

- 全国でも少ない状況である。成育医療センターなど術後の管理をする集中治療科の医師の数が桁違いに多く、対象患者も多い大きな病院等については、さらに医師が集まる傾向にあり、ある一定の所まで人が増えてくると、さらに人を呼び込むような状況であり、現在のこども病院は、まだそこまでに達していない。
- 逆に、今までよくとれていたとのことか。
- 昨年6月の診療報酬改定で要件が厳しくなったことによるものと考えている。
- 市民病院の項目で、福岡市歯科医師会と連携し、歯科医師会から派遣された歯科衛生士と当院の摂食嚥下認定看護師が協働で、入院患者の口腔アセスメントのラウンドを実施し、全身と口腔の維持・改善、重症化要望を図った。と記載されているが、市民病院に歯科はあったか。
- 市民病院に歯科はない。これは、口腔ケアで、疾患や術後のコントロールを良くしようとのことで、歯科医師会が積極的に関わってくださっている。市民病院に歯科はないが、歯科医師会が歯科衛生士を無料で派遣してくださっている。歯を診ていただく中で悪い箇所が見つかれば歯科医に誘導することもある。無料で派遣していただいていると思われる。それと、当院の摂食嚥下認定看護師がいるため、そのスタッフと連動してやっている。
- 歯も全身疾患の管理に必要なことであるため良いことだと思う。

3 第4期中期目標期間業務実績等報告書（案）について

<概要>

第4期中期目標期間業務実績等報告書（案）について、事務局より説明を行った。

大項目の評価について、自己評価、業務の実績について説明

（内容）

大項目「第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」

【自己評価】

コロナ感染患者を積極的に受け入れながら、高度専門医療、救急医療等を提供したものの、両病院とも1日当たり入院患者数、病床利用率が目標を下回ったことから、実績評価を「B」とした。

【業務の実績】

大項目第1の1 医療サービス(1) 良質な医療の実践

両病院ともにコロナ感染患者を積極的に受け入れながら、高度専門医療・救急医療等を継続して提供するとともに、こども病院においては、様々な診療科やセンターを設置するなど高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実を、市民病院においては、専任の管理栄養士の配置や医療AI機器の導入及び「断らない救急」への取組、リウマチ・膠原病内科の設置など医療サービスの充実・強化に努めた。目標値に対する実績としては、こども病院では新規入院患者数、救急搬送件数、NICU利用率について、市民病院では1日当たり入院患者数、病床利用率、救急搬送患者の入院率を除く全てについて目標値を上回った。

(2)地域医療への貢献と医療連携の推進

地域医療支援病院として、Webを活用したオープンカンファレンスの開催などを通じて、地域の医療機関を中心に積極的に病病・病診連携に努めており、目標値については、こども病院はオープンカンファレンス参加者数、退院支援計画件数を除く全ての項目において、市民病院では新規紹介患者数、オープンカンファレンスを除くすべての項目で目標値を上回った。

(3) 災害・感染症等への適切な対応

両病院ともにコロナの流行に際しては、福岡市や他の感染症指定医療機関等との密接な連携を図りながら、迅速かつ適切な対応を行った。また、災害発生に備え、防災訓練等の実施、非常用発電設

備・備蓄物品の点検などを徹底したほか、能登半島地震に際しては医師・看護師等を派遣した。

2 患者サービス (1)患者サービスの向上

患者満足度調査等を踏まえた、院内環境の整備を進めるとともに、ICT の活用などにより快適な療養環境の提供に努めた。目標値については、両病院とも患者アンケート等の平均評価点数が目標値を上回った。

(2) 情報発信

ホームページの全面リニューアルや SNS の活用、地域住民向け講座の実施などにより、市民等に対して最新の病院情報を発信するとともに、病院指標や患者用クリニカルパスの公開など、患者が安心して受診できる情報発信に努めた。

3 医療の質の向上(1) 病院スタッフの計画的な確保と教育・研修

意欲ある人材の確保及び働きやすい環境づくりに努めるとともに、院内研修等による職員の資質の向上に努めた。また、認定看護師等資格取得支援制度の活用、各種専門資格の取得奨励により、医療技術職員の専門性の向上を図った。

(2) 信頼される医療の実践

院内感染対策の徹底、他の医療機関とのカンファレンスの実施などを通じた感染対策防止の強化を図った。また、クリニカルパスの活用、インフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践した。

目標値については、こども病院では、全ての項目で目標値を上回り、市民病院では、がん患者指導件数以外は目標値を下回った。

大項目「第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」

【自己評価】

病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者ニーズ等に迅速かつ的確に対応しており、おおむね目標どおり達成していると評価し、実績評価を「B」とした。

【業務の実績】

1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

理事会や各種会議において情報共有や健全な経営に向けた立案等を行うなど、病院長のリーダーシップのもと自律的・機動的な病院経営に取り組んだ。

2 事務部門の機能強化

病院内の研修の充実を図るとともに、病院外の研修に参加させるなど、事務職員の能力向上に取り組むとともに、人事評価システムを医師以外の全職員に導入するなど、事務の簡素化、効率化に努めた。

3 働きがいのある職場環境づくり

職員が安心して働き続けることができる制度の充実に取り組んだほか、職員の適正な労働時間の管理、メンタルヘルス研修等の実施など、職員が働きやすい職場環境づくりに努めた。

4 法令遵守と公平性・透明性の確保

研修など様々な機会を通じて服務規律の指導を徹底し、行動規範と倫理観の確立に努めるとともに、個人情報保護及び情報公開に関しては、適切に対応した。

しかしながら、令和6年度に懲戒処分事案が2件発生し、市民の皆様の信頼を損なうこととなったことは大変遺憾である。

大項目「第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」

【自己評価】

収益確保や費用削減に取り組んだが、診療報酬改定による施設基準への対応の影響等による収益の減少、高額な薬品等の使用増や、給与費の増等による費用の増加により目標を下回ったことから評価を「C」とした。

【業務の実績】

1 持続可能な経営基盤の確立 (1) 経営基盤の安定化と運営費負担金の適正化

毎月開催する「経営会議」において経営状況を検証し、適切な改善策を講じるなど、経営管理の徹底に取り組んでいるが、目標値については、両病院ともに全ての項目で目標を下回った。

(2) 投資財源の確保

収支改善により生じた利益を積立て、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努めた。

2 収支改善(1) 収益確保

コロナ関連補助金を含む各種補助金の把握や申請事務を適切に行ったほか、適切な施設基準の取得や診療報酬請求の精度向上、未収金対策など、収入の確保に努めた。

(2) 費用削減

両病院ともに診療材料等の価格交渉の実施、同種同効品への集約化、契約手法の見直しなど、費用削減に取り組んだ。

目標値については、こども病院では材料費対医業収益比率、委託費対医業収支比率を除くすべての項目で、市民病院では、委託費対医業収支比率及びジェネリック医薬品導入率を除くすべての項目で目標値を下回った。

大項目「第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置」

【自己評価】

コロナ感染患者を積極的に受け入れながら、医療機能の充実を図るとともに、市立病院として求められる役割を果たしており、目標どおり達成している評価し、「B」とした。

【業務の実績】

1 こども病院における医療機能の充実

様々な診療科・センターの設置など、高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、臨床研究や治験、国際的な視野に立った職員の人材育成等に積極的に取り組んだ。

2 福岡市民病院における経営改善の推進

福岡市におけるコロナ対応の中核的な役割を果たしながら、通常診療を途切れさせないため、診療科や病棟の垣根を越えた患者受入れを行うとともに、紹介患者の確保や救急搬送件数の増加に向けた取り組みを継続して行ったが、医業収支比率や経常収支比率は目標を下回った。

予算、収支計画、資金計画の4年間の合計を記載で、資金計画については、6月の理事会でご報告する。

<主な意見等>

- 【大項目ごとの取組状況及び特記事項】の2 (4) 法令遵守と公平性・透明性の確保で、パワー・ハラスメントによる懲戒処分事案が2件発生し、市民の皆様の信頼を損なうことになったことは大変遺憾である。と記載されているが再発防止策についても記載した方が良いのではないか。

- 再発防止策について追記する。
- 5月26日の西日本新聞で市民病院の救急科医師による熱中症についての記事が掲載されていたが、大変良い記事であったと思う。後輩の弁護士などで、小さなお子様がいる場合などに、結構こども病院で治療してもらっているが、こども病院の専門性の意義など、非常に大きいと思うが、小さなお子様がいて、こども病院を利用される方はよくご存知かもしれないが、もっと多くの方に福岡にこども病院があることや子どもに特化した数少ない公的な病院であることなどアピールされてもいいのではないかと思います。
- 読売新聞にて、毎月1回、各診療科の科長が専門領域の一般的な知識やこども病院で実施している医療などについて記事を昨年の1月から連載している。
- 例えば、YouTubeやSNSで情報発信するなど、今回の市民病院の熱中症の記事が予防法や対策などが書いてあり非常に良い記事であったため、こども病院の先生は、まさに専門のプロとしてされているため、紙媒体に限らずSNSなどで皆さんの活躍や専門に関することなどについて広く情報発信していただきたい。
- こども病院では、新聞以外でもInstagramやフェイスブックで情報発信しているが、診療の内容というよりは市民向けの公開講座などを含むイベントなどのお知らせがメインとなっている。
- 若い医師や看護師、職員の意見も聞いて情報発信されてもいいのではないか、患者や患者の家族も若い世代の方が多いと思われるため、同じ世代の医師や看護師などの意見も聞いてみていいと思う。
- 若い世代の方は、新聞を取らずにネットで情報を入手する方も増えているので、情報発信については色々な方法でアプローチしていくことは大事だと思うので、いただいた課題として頑張っていきたい。
- 信頼される医療の実践について、こども病院はどこもやっていないアレルギー外来とかというのは、すごくオリジナリティーがある。
市民病院は、特定行為研修はどこもやっているけれども、早くに取組んで自分の病院用だけの特定行為研修修了とするだけではなくて、他所の病院からも引き受けたということでパブリックの意味があるから、これは教育というのが「3」となっているけれども、評価をもっと上げていいのではないかと思います。
やはり、感染症に対してのコロナの時の活動も大事ですけど、病院としての内部だけでも大変なのに、よく外部からの教育を引き受けているということで、人材育成というのは、何も中だけではなくて外の人たちにも還元しているということで評価してもいいのではないかと。
- やはり、こども病院とか市民病院でしかできないこと。どこかがやってもなかなかできないことをもっとアピールしていいと思う。
- 医療の質の向上の箇所について、市民病院は（1）病院スタッフの確保と教育・研修の項目で、令和4年度、令和5年度の評価が4となっているが6年度は3にしている。信頼される医療の実践の項目について、こども病院は、令和3年、令和5年は4になっているが6年度は3にしている。このあたりの評価を見直してもいいのではないかとのご意見であると思うので、再度検討して来月の理事会で報告したい。
- 第1の医療サービスの項目について見事に全部3が並んでいるというのが、理事会などで報告を聞いている限りでは、ここまで前年、前々年度に比べて医療サービス自体がそんなに変わったのかなというふうに感じた。できれば、どこか4を付けていただいて令和6年度はBとしても4年間ではAにさせていただいていいのではないかと。
- こども病院を受診される患者は、地域的にはどれぐらいカバーされているのか。
- こども病院を受診される患者としては、外来については、50%程度が福岡市、40%程度が福岡市以外の福岡県、残りが福岡県外、入院については、40%程度が福岡市、残りの半分より少し多い程度が福岡市以外の福岡県、それ以外が福岡県外という分布になっている。

- 福岡県外の方は、どの辺りの方が来られるのか。
- 九州が多いが山口県の方も来られる。
- 先ほど情報発信の話があっていたが、どこをターゲットに発信していくのか考える際に、地域性というのも1つあると思う。患者が来られるエリアを意識しても良いのではないかと
思う。語学の研修等もされているようなので、難しいと思うが、例えば、中国の方をター
ゲットにするようなことはできないのか。
- こども病院は、9年ほど前に国際医療支援センターを設置しており、その中で語学研修な
ども行っているが、病院の経営という意味でのインバウンド需要については、例えば、米国
のように、アラブ諸国などから飛行機でやってきて心臓の手術受けて帰るというようなこと
を思い浮かべるが、高度小児専門医療の対象として外国から受け入れるのは、かなりハード
ルが高いと考えており、当面は、主に一時滞在の外国人が救急医療を要する場合の受入れが
きちんとできることを目指していて、高収益に結びつくような、わざわざ旅費や滞在費を使
って来られる方まで取り組むというところまでは、手が回らない状況である。
- 評価について、一覧表を見るとかなり厳しくつけてある。第1住民に対して提供するサー
ビスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置について、令和3年
度から5年度までAとなっており、6年度がBであったとしても総合評価としてはAでいい
のではと思う。
- アピールできるところは、アピールするよう再検討したい。